

小特集・めし

めしアレコレ……………2

めしと小説……………4

(1) 林芙美子の「めし」とジャンジャン町……………4

(2) 武田リン太郎の「釜ヶ崎」と手がゆ……………7

(3) 川口松太郎の「飯と汁」と陽西屋……………10

《表》めしの栄養／日本人の栄養必要量……………12

軍隊に於ける「めし」考……………14

オレの好きなめし屋敷図……………16

☆めし屋すききょい人気投票要項 投票券つき……………23

《ニュース寸評》朝日ジャーナル&クワ号の記事と「労務者渡世」のこと……………25

／地下足袋のふみつけるもの……………25

《詩》まぢ 街……………29

とせいでんごんばん＝渡世伝言板……………30

金網はずれて嘆く西成署へ防犯コーナーだよりを評す……………34

《れんごい》労務者の歴史 明治土方編番外 沓掛時次郎と土工……………37

《よみかみりんごい小説》蜂とまむしと土工たち 日野善太郎／紅茶キノ子……………41

《ほんごい》釜ヶ崎手帖(九) サルマタ、パンツ、スリーフ……下着の話……………50

※ 表紙題字の「バツ」の「腹」を「た」にする……「(原稿は各行末に)なごぶくつ」というのは釜の中「」画を明るくする……「(オレたちは無病)」は「つ」物文を「直」で約シタに縮少。

俺あいかにも飛びッちよの吉ビよ。今まで一ツ
 処に五日といた例はなかつた男だ。土左衛門の親
 類、俺の噂をまだ聞いたことあねえといつたな、
 聞かせてやろう、節をつけちゃ聞かせねえ、手前
 なんかにか勿体ねえからだ。聞けよ老ぼれ。土方
 する身は空吹く風よ、その日その日の西東とな。
 東西南北六十余州、きのうときょうと、同じ土地
 に立っていねえ俺だ。老ぼれ、土工社会では西行
 に出るとも飛びッちよをするともいう、俺あその
 飛びッちよ言だ、それが何だつてのだ。

——長谷川伸「飛びッちよ」(昭和三
 年一月作)「全集」第一五巻